

在職記入者 16名 平均勤続年数 4.9年

☆ 今年度の本園教育活動における評価。

< 5大変良い 4良い 3普通 2不十分 1悪い >

No	項目	評価	評価の補足・反省・今後に向けて等（記述）
1	日頃より、本園の教育目標を唱え、意識を持って、教育活動に取り組めたか。	5 4 3 2 1 3.68	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を踏まえ「全ては園児のために」を念頭に置き、教育に携わってきました。今後も同様に園児のために努力していきます。 ・日々、朝礼にて、教育目標を声に出すことで、園児への関わり方や想いを再認識し、保育に繋げようとする気持ちが持てた。 ・毎朝、皆で確認し合う事で、何度も振り返るきっかけとなっている。 ・日々、朝礼で唱える事で、改めて、意識を持つ事が出来た。教育目標等を踏まえた月案等でも、細かい目標を決めた事で、更に、目標を持つ事が出来た。しかし、達成出来ていたかの点では、もっと、出来た部分もあると反省したので、次年度へ、生かします。 ・挨拶を自身が手本となり、示すように取り組んだ。継続して行う事で、未就園児のおともだちにも『挨拶』をする事の気持ちよさを感じさせる事が出来てきていた。3学期に頃には、未就園児でも、元気に挨拶をする児が増えてきた。 ・教育目標に沿って、一人ひとりが活動や行事に、楽しく参加し、「出来た！」に繋がる様、環境設定を行い、取り組んだ。又、おともだちの学びに繋がる様、活動の充実を図り、努めた。 ・意識を持って取り組んだ教職員、意識が薄い教職員と、差があったのではないかと思う。 ・バスの乗降にも、挨拶が出来るように接してきた。挨拶が苦手な園児に対して本人の意思で挨拶できるように呼びかけ取り組みました。

2	<p>年間の教育計画に従った実践・反省・新しい計画に繋がったか。</p>	<p>5 4 3 2 1 3 . 4 7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のやるべき事は時間の余裕を持って取り組むようにした。早めに進める中で、活動に落ち着いて進められた。 ・年間の教育計画を元にして、今の学年の園児の実態や現状に向き合い、必要に応じて内容をプラスしたり、園児が楽しんで、無理なく行える内容に変更する等、学年間で十分に話し合い、進める事が出来た。又、行ってみて、次はどうしていけばより、良くなるか迄、考える事が出来た。 ・先輩の先生方から、ご指導を頂いたお陰で、どの様な流れで行うか確認をさせて頂き進めていく事が出来ました。 ・過去の教育計画を参考にし、現在のクラスの現状と重ね合わせ、次のステップへ繋げられる様にしました。 ・学年で立てた計画を基に、実際の園児の姿に合わせた活動を考えてきた。その中で、学年毎だけでなく、「卒園までに、どの様に育てたいか」、長い目で計画を立てられると、もっと良い ・年間の計画に沿って、クラス運営を行った。上手くいかず、課題が出た際は、園長先生や主任、また、他クラスの先生がたに相談し、取り組んだ。 ・月案や朝礼ノートで、一日の保育の流れを把握し、実践できました。 ・早めの準備を心掛け、余裕を持って取り組めるようにしました。 ・行事や実践している中で、昨年度の反省を読み直し、チェックし、考慮した事で、レベルアップ及び改善して計画していきました。
3	<p>園児及び保護者との信頼を深め、園児の指導・課題克服に取り組めたか。</p>	<p>5 4 3 2 1 3 . 4 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児とのコミュニケーションは、接する時間も長いので取りやすく、信頼を深めやすいですが、保護者との接し方、伝え方を相手によって変えなければならない現状を目の当たりにしました。 ・新年度を迎えた当初は、想いを表面に出す事が苦手な園児や保護者との関わり方に、試行錯誤したが、おともだちの成長を一番に考え、一緒に育てていきたいという想いをぶ

れずに伝え続け、又、保護者の話にも耳を傾けた事で、理解して頂き、一緒にお子様の成長を見守る事が出来た。

- ・ 各ご家庭と、園児の、園と家庭での、出来る事や課題を共有し、良い所はレベルアップ出来る様に、課題は一緒に取り組んで行ける様にしました。
- ・ 今年度、保護者から沢山のお話を頂き、改善すべき点・保護者に伝えて行かなければならない幼稚園の想い等があった。課題を明確にし、来年度に繋げていきたい。
- ・ 園児の様子を保護者にお伝えする事について、各ご家庭で受け止め方が違い、各ご家庭に合わせたお伝えの仕方をしていく事が、自身の今後の課題となった。
- ・ 自分自身の、家庭への伝え方やアプローチの仕方など、十分とまではいかないかもしれないが、日々、園児の成長の為に出来る事、又、伝えたい事は、小まめに行う様に努めました。「課題が改善されたか」という部分では、もう一歩かもしれないが、共に歩み寄る事は出来たかと思う。一人ひとり、園児の良さを認め、伝えるように努めました。また、その為に日々の園児の事を見守る目を養うようにしました。頑張っているところ、成長を感じる事を具体的に、理解しやすいように伝えるよう心掛けました。気になる事を担任に伝え園児の課題に、一緒に取り組みました
- ・ 自分のクラスだけでなく、学年・全学年・未就園児の指導、保護者対応に取り組める様に心がけました。
- ・ 鉄棒や縄跳び等、出来ないと諦めていたお友だちに声を掛けして、続けることで出来るようになった。
- ・ 一年間を通して、バス停で停止する際、こちらからの会釈に対して100%の保護者の皆様から会釈が返ってきました。

4 園内の衛生管理や園児の食育指導が見られ
たか。

5 4 3 2 1
3 . 7 5

・ 手洗い、うがい、消毒の励行は、徹底したり、園内の清潔にも意識を持ち過ぎてきたが、食育の中で、好き嫌いを少なくする面で、十分な指導が欠けていたと感じる。日々の食事時間だけでなく、絵本や掲示等、利用出来る様、今

後に繋がります。

- ・手洗い、うがい、水飲み、声掛けをし、促してきたが、手洗いを十分に指導する事が出来なかつた。絵や写真を掲示し、正しい手洗いが出来る様にしていきたいです。
- ・手洗いうがいを徹底し、食べる物を粗末にすることなく、楽しい食事の時間が取れている。
- ・教室中の環境を整える事、更に児自身も自分で身の回りの環境を整えられる様、声を掛け、出来る様になった。
- ・教室の環境設定の際に、不衛生なものはないか？クロール水の使用を徹底する等、取り組んだ。食育に対しては、あまり興味がない様子のご家庭には、その児の今にあった食事の仕方を、保護者の話し合い、お弁当の中身を調整して頂き、『食べられた』という嬉しさを経験させられる様に取り組んだ。
- ・「皆と一緒に食べる」事の楽しさを感じ、偏食をしていた児も、様々な食材に興味を持ち、集団での力を感じた。
- ・衛生管理について、加湿器やクロール水、噴霧器など、活用させて頂いた事で、クラスの感染者が広がらず、少数で時期を乗り越えた。常に除菌を心掛けました。
- ・どのように伝えたら食べたくなるか等考えましたが、好き嫌いの克服は難しいと感じました。
- ・園内のゴミ拾いなどを行い、その姿を見て、児自ら行うことも出来るようになってきました。
- ・本年度は、給食に関する課題が多くありました。その為の保護者対応もさせて頂きました。
- ・園児と昼食を一緒に取ることで、食べる大切さや一緒に頂く事の楽しさを伝えられたと思う。試食会も保護者への食育への大切なアピールとなった。
- ・バスの車内の清掃を怠らず運転にも最善の注意を行いました。

5 安全・安心の園内を
めざし、環境整備が

5 4 3 2 1

- ・常に、園児が安全に過ごせるかを考え、環境整備を意識した。それと共に、園児に対しても、自分で危険を回避する

出来ていたか。

3. 69

方法を伝え、意識が高められる様に、始動した。

- ・危険なものが無いか日々気を付けて参りました。整備されておりました。
- ・園児が怪我をしない様に、物の配置や周りの環境に常に気を付けました。
- ・交通安全指導や、お散歩の前後に真剣に話を聞き、個人で意識して取り組むことができる様になった。
- ・園内事故防止については日々注意喚起し、高い意識を持って努めている。
- ・交通安全やルールは勿論、遊んでいる時の危機管理能力も日頃から伝えてきた。その中で、家庭での怪我也も沢山あった為、保護者にも知らせていく必要を感じる。
- ・いつも置いている場所と固定概念をやめ、この置き方・この設定の仕方とは常に考える様に心掛けた。園外活動、散歩や避難訓練等は、これからももっと意識を高めて、園児の命を守り、取り組める様にしていく。
- ・園児が生活しやすい様に、気付いた箇所は整理したり、清掃も行う様にした。環境整備だけでなく、+声掛けで事故防止に努めた。(4)
定期的に不備がないかの確認をする事により、整えられていました。
児が園庭で自由遊びをしている際も、遊具の緩みがないか、掃除できていないところはないかを意識してみました。
危険箇所を見付けたときは、報告を怠らないようにしました。
- ・日々の活動の中で、環境設定を行い目視や直接触れる事を心掛けました。
- ・園庭の石拾い、遊具の雨ぬれや汚れがないかを気をつけました。
- ・サロンの設置は、安全を考え配置しました。
- ・バスの運行中急ブレーキをする事はなかったが、危ないと思うことはありましたその度に安全確認を徹底しました。

<p>6 園内事故防止の対策や交通安全への指導・対策に取り組み、成果が見られたか。</p>	<p>5 4 3 2 1 3 . 5 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事や研修を通して、園児が交通ルールを守ったり、怪我が未然に防げる様な環境を教職員で意識し、又、連携を図れる様にしてきた。園児自身が声を出し、交通ルールへの意識を高められる姿が育ったり、教室にあって危ないものに気付けるようになった。 ・園児を含め、いつ起こるか分からない災害について、日頃から意識を高める事が出来た。 ・日々のお散歩を行う事で、自然と交通ルールが身につきました。又、警察の方との関わりの中で、(交通安全教室)学びが得られた。 ・園内で事前に防げる事故については、普段先生方と話し合い、常に気を付けて園児と活動をした。園児の個々の課題については、もっと園から様子をお伝えし、ご理解頂いて、ご家庭でも個々の課題に向き合ってもらえる様に、努める様にした。 ・散歩や交通安全教室での取り組みから、園児自身が交通ルールを理解し、参加する様子が見られた。又、園内では、物の置き方や環境設定に気を配った。降園時等、大勢が階段を通る際は職員が階段につき、園内の怪我防止に努めました。園外に出た際には、歩くときの約束を繰り返し伝え、危険意識を持ちながら行うよう声を掛けました。 ・ミニ牧場の往復に引率しましたが、皆、交通安全に取り組めていました。
<p>7 緊急時の災害(火災・地震・不審者侵入)を想定した訓練や日頃の対策に努め、緊急災害に十分備えられていたか。</p>	<p>5 4 3 2 1 3 . 0 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の避難訓練、研修を通して、教職員で連携を図り、園児の命を守る意識を高める事が出来た。又、日頃から、もし災害が起こったら、どう行動すべきかをいかなる状況でも対応出来る様、想定して、園児と共に取り組めた。 ・児の姿を的確に伝え、課題を明確にする事で、進学に向けて取り組んで下さる家庭があった。 ・数多くの避難訓練を行う中で、おともだち自身の意識が高まった。又、教師も避難誘導の仕方等、意識を高める事が

			<p>出来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に対して意識しているが、実際、訓練を取り組むと意識が足りない実感する事が多かった。担当者にも任せきれなくなっている部分もあるので、自分からも「これはどうか？」と、発信出来る様にする。 ・今年度、振り返ると、何度か訓練を経験してきたが、人数報告が遅れてしまったり、職員間の連携（新任）が取れていかなかった様に感じた。どんな時も、冷静に、自分だけの視野にならず、落ち着いて周りを見る事が出来る様、日頃から取り組んでいきたい。 ・訓練を何度も繰り返し行う事で、園児の身に付いたと思います。 ・園内、園外の際も、常に“今災害が起きたらどのように避難するか”、“不審者がいたらどうやって園児を守るか”意識しました。 ・避難訓練を訓練で終わらない様に、『実際の起こった時は…。』と、常に考え行動刷る様に考えました。また、職員間でも、どうすれば一番の対策になるかも話し合いも行い改善出来ることはやってみました。 ・園庭開放中の訓練に参加し、来園している方にもその目的も伝えました。 ・教職員の大きな声かけと確認を大切と考え行いました。実際に5月に不審者が出没してドキッとしましたがこのドキッを忘れず訓練や日頃の対策に務めなければと感じました。
8	<p>支援を要する園児への適切な支援・協力がなされていたか。</p>	<p>5 4 ③ 2 1 3 . 0 9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に、学年全員に移行支援のお知らせを配布し、小家庭と連携が図れる様に対処していかを園と家支援を必要とする家庭でも、園児の集団生活の実態を認め理解するところまで、持っている事の難しさを感じたが、まずは、お友だち自身が困っている事を伝え、過ごしやすい為には、支援である。という目的を明確に伝える事に大切さを感じた。根気よく伝え、又、小まめな連絡、対応をしてきた事が、保護者理解と共に、支援児の成長に繋がった。

			<ul style="list-style-type: none"> ・専門の機関、保護者の方との連絡を密に取り、本児に対して支援を行っていた。 ・担任のみならず、副担任の先生を含め、様々な先生方にご指導を頂き、「その児にとっての課題」や「対応策」を見出す事が出来た。一人ひとりの成長に、繋がった部分もあるが、進級に繋がらなかったかといえ、十分に言えないところもある。 ・集団に馴染めず、別教室での対応になる事があったが、本人のやる気を引き出せるよう声掛けなど努めました。良い時はほめて、いけない時はいけない事を伝えていった。1対1対応やその児に合った支援や掛けましたが、それがその児の成長に繋がっているのか疑問に感じることはありました。 ・専門機関と保護者と共有できる様には、どうすれば良いかと考え対応してきました。また、支援コーディネーターとして研修会に参加させて頂いた事を活かしてきました。毎年の課題ですが、保護者対応は、難しい部分があると痛感させられました。
9	各自が、校務分担を認識し、園運営の向上に努めたか。	5 4 3 2 1 2. 7 5	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれに分担が決められているものの、個々が責任を全うする責に欠けており、精神的な心の余裕が持てない所があった。一生懸命、頑張り張る教員と意識に欠ける教員との差がない様ない分担方法への改善を年度末に話し合ったので今後、より良い連携を図り、向上に繋がる様、努めたい。 ・公務分担の中での役割を把握し、お仕事を行わせて頂きましました。自分自身のスキルアップがまだ出来ない部分もあるので、スキルアップに努めていきます。 ・全てを意識していたかと振り返ると、全てが効率良く出来てはいなかった。同じ担当の方と、定期的に確認し合う様にする。 ・校務分担を認識してるが、日々の業務に追われ、正直、全う出来ていなかった部分、優先順位に迷ってしまう事があったがある。効率的に進められる様に、変えていきたい。 <p>自分の担当については、ご指導頂きながら取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務をを意識して、行動して行きました。全体の総括としては、課題の残る結果となりました。改善出来るように努めたいと思います。

<p>10</p>	<p>各自のスキルアップに向けて、積極的に研修・研鑽に努めたか。</p>	<p>5 4 ③ 2 1 3 . 0 9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会、研修会を通じて、様々な事を学ばせて頂きました。学びの多い年度でした。 ・目の前に迫っている活動に対して、おともだちにとって、より良いもの、活動になる様に、魅力的な活動が展開出来る様な努力は、行っていたが、プラスして、研修に積極的に出て、新たな物を得るという取り組みは、難しかった。 ・研修に参加させて頂き、保育知識を深めさせて頂きました。保育で活かせる知識を沢山学ばせて頂きました。 ・各自のスキルアップだけでなく、職員全体で情報を共有し、活用することができた。 ・研修に参加させて頂いた機会を頂いたり、本年は、推進委員会にも参加させて頂いた事で、様々な事を学ぶ事が出来ました。 ・研修会で、学ばせて頂いたことを、日々の活動や未就園児教室等で実践し、先生のおともだちが楽しめる様に努めた。研修に参加された先生の報告書を参考にしました。園内研修では、全職員が同じ意識を持つ事が出来ました。園会議や研修会に出る事が難しいですが、出来る限り時間を作り参加させて頂きました。
<p>11</p>	<p>本園の教育活動を知らせるHPの更新や園だより、電話連絡等を積極的にを行い、保護者との連携ができたか。</p>	<p>5 4 ③ 2 1 3 . 1 8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のブログ更新、電話連絡、クラス便り等を通して、クラスの様子や取り組み、想いを伝える事が出来た。どこまで伝わって居るかは、分からないが、引き続き、伝える事を諦めずに行いたい。 ・保護者の方と日頃から、連絡を取り、園の活動にご理解頂ける様ご協力頂いていた。 ・その日にあった出来事や、欠席されていたご家庭に電話連絡をする事で、園児の様子の共有を図りました。 ・自分の中で、しっかりと想いやねらいを持って、保護者に伝えられる様、意識してきた。もっと良い手段もまだあると思うので、今後も継続して取り組んで行きたい。 ・良い写真、楽しそうな写真を保護者の方にお伝えすると共に、「ブログに載せるときですね。」と、プラスのお声掛けをあし、見て頂ける様にしました。又、他の先生方も、ブログの話をお電話等でも聞く機会が増えました。園での様

			<p>子、おともだちの様子が伝えられるよう、今後も撮り方を工夫して参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話連絡は各家庭によって偏ってしまった。もっと平等に連絡出来る様にする。HPの内容は、園長先生が更新して下さった内容を直ぐに把握出来る様に、常に毎日開き、確認する様にした。 日々のブログやクラスだより等、担任自身の思いを載せ、少しでも、「読みたい。」、「見たい。」と、感じて頂ける様に工夫した。 園だよりやホームページを読み、先生方の思いを共通理解できるように努めました。 教師の思いを押しつけるだけでなく、保護者と共有してして指導できるように努めました。手の掛かる園児の保護者対応でなかなか共有できない事で悩みましたが3学期には連携が多少なりとも図れ成果が出てきました。
12	<p>保護者との連携を図る為の連絡・交流・相談等に努めていたか。</p>	<p>5 4 3 2 1 3 . 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出来るだけ、掘り下げて、分かり易くお伝えする事、課題に対して、園でどうしていくか、家庭でどうして欲しいかを明確に伝えると共に、小まめに、その過程を報告、相談し合う事が出来た。 日々の出来事や、様子をお電話でお伝えする事が出来ていた。バスの保護者の方とは、お顔を会わず機会が少ない為、お電話での連絡を小まめに取る様にします。 教育相談日以外にも、家庭から、または、担当からお話をしたご家庭があった場合は、積極的に時間を頂いた。しかし、自分から発信できる保護者、相談したいけれど発信出来ない保護者がいる事に気付かなかった部分もあった。もっとこちらから様子を伺い、保護者の気持ちに寄り添える様にする。 保護者に児の成長を伝えましたが、継続的に個人の課題について交流しませんでした。 連絡を取る中で、保護者の困り感を一緒に共有し園児の成長を一緒に喜び合えた事が多くありました。また、お会いできた時には、機会を逃さず伝えられるようにしました。

			<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放やサロンで相談に答えたり、お子様の成長と一緒に喜び合いました。
13	園情報を地域の方に伝え、本園の広報や理解を得られたか。	5 4 ③ 2 1 2 . 9 0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に、お会いした時には、挨拶を徹底して行いました。 ・園庭開放や、朝の掃除の際に、挨拶をする様に心掛けました。 ・ホームページや市の情報誌等を通し、本園の活動を知って頂くことができた。 ・ポスターの願いはしているが、自分では、地域の方々へのアプローチが出来ていなかった。まずは、保護者の方への満足度を上げて、口コミで広まる様、今を大切にします。 ・ポスターを貼る場所、発信出来る場所（宣伝出来る所、公民館、子どもセンター、その他お店）を普段意識し、探した。まだまだ、発信の仕方をもっと探していく。 ・特におひさま教室での関わりを大事にし、園のアピールをする様、努めた。しかし、それ止まりになってしまう事が多かったので、広報のアイデアやイベントのアイデアをもっと出していける様にしたい。 ・ポスターを掲示し、近所の方へも口頭で伝えました。積極的発信することは出来ませんが、聞かれた事に対しては具体的に答えられるよう努めました。 ・福祉施設とプルタブ集めでの交流はあったものの、こちらからのアプローチは殆ど出来ませんでした。 ・園バスはを運行する事が常に広告を背負っての運行であると自負して運転しました。